

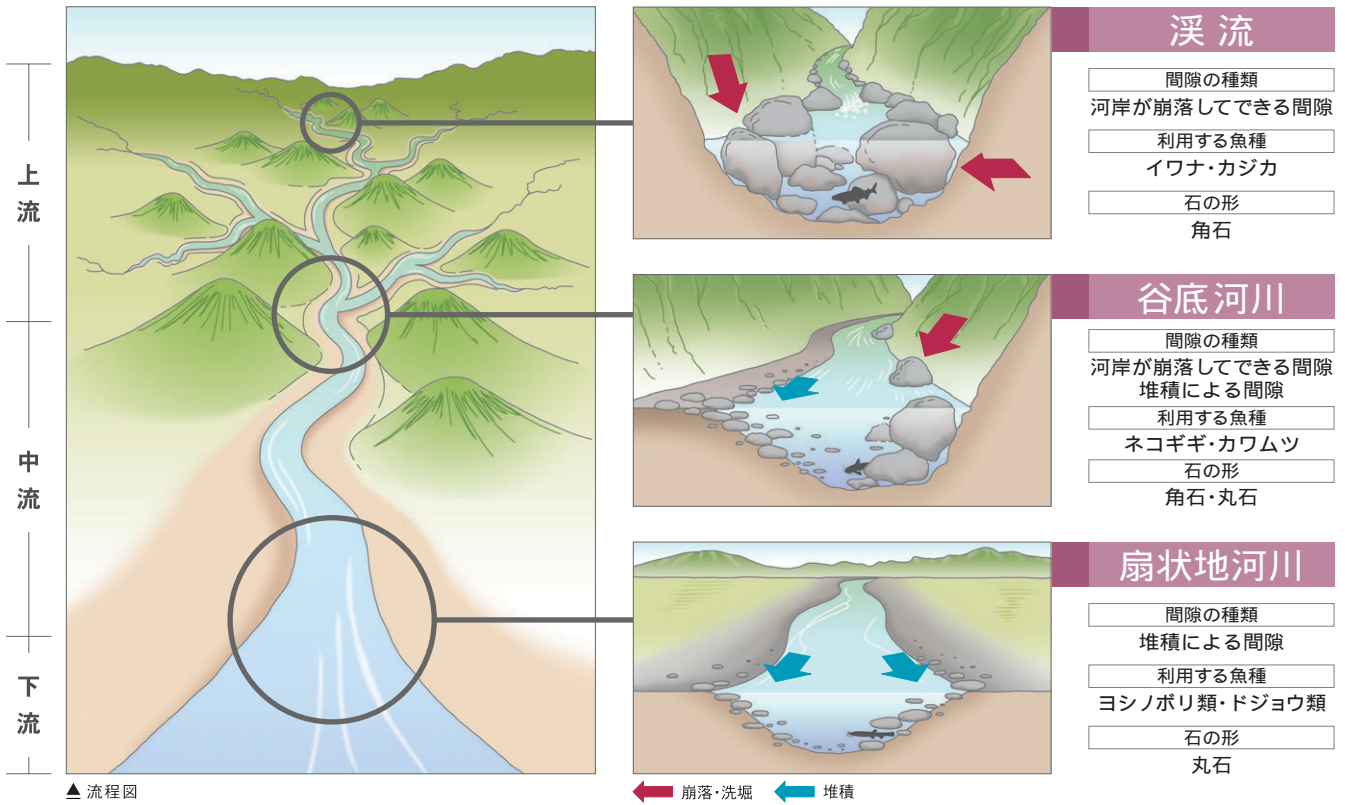
特集 知られざる間隙の世界 —石の間隙のサイエンス—

# 石の間隙を利用する魚たち

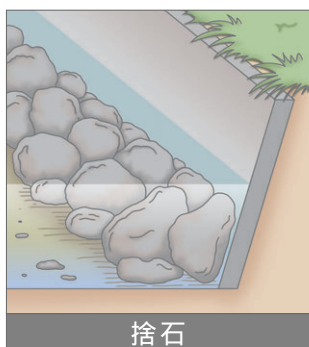
河川上中流域の河底や河岸には多くの石が存在します。石の形状や配置は流程によって特徴がある為、石によって形成される隙間も溪流、谷底河川、扇状地河川では異なります。魚達は各流程に分布する特徴的な隙間を棲家として、今日まで生き抜いてきたのです。

Photo by Shiro SAGAWA

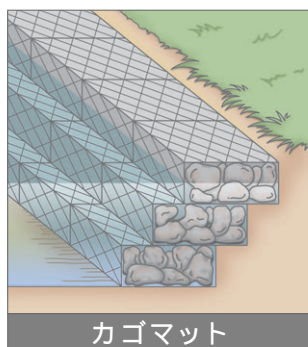
川には流程によって様々な<sup>かんげき</sup>間隙がみられ、魚達はそこを利用しています。



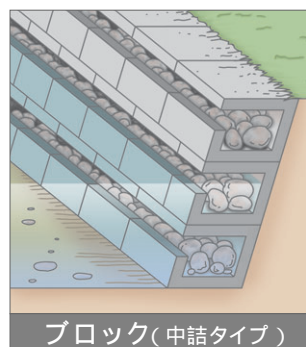
侵食から川岸を守る工法には間隙を形成するものがあります。



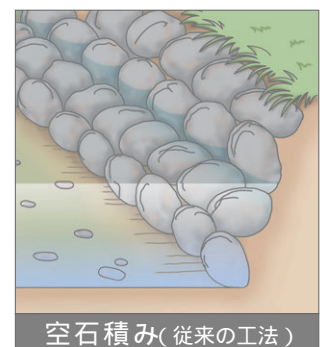
水際に石を投入し、低水護岸の基礎部分を保護する工法。



石を一体化して、河岸の侵食や河床の洗掘を防止する工法。



ブロックのすき間や内部に、石を充填することができる工法。



石をかみ合わせて法面を保護する工法(現在はあまり使われていない)